

明政クラブ

長崎新幹線のフル規格への展望

問 全線フル規格化を求めていくべきと考えるが、市長の見解を伺いたい。

答 九州新幹線西九州ルートについては、博多ー武雄温泉間は在来線を活用し、武雄温泉ー長崎間はフル規格の新幹線施設を整備してフリーゲージトレインを導入する計画となっている。

しかし、現在開発中のフリーゲージトレインは試験中の不具合による開発遅延のため、平成34年度の開業時に必要な車両数がそろわないことになった。そこで、現在は武雄温泉駅で在来線と新幹線を乗りかえるリレー方式により暫定開業する計画となっている。

長崎市としては、全線フル規格になることが最も望ましいと考えるが、当面は長崎県や沿線市と連携し、関西圏への直接乗り入れという最終的な西九州ルートのある方向と、そこに至る道筋を早急に示してもらおうよう引き続き国に対し働きかけしていきたい。

きかけていきたい。



▲開発中のフリーゲージトレイン

行政サテライト機能の再編成

問 なぜ急に平成29年7月から実施することになったのか。また、行政センターについては、名称を変えず、技術職員を配置できないか伺いたい。

答 実施時期については検討に多くの時間を要し、予定より遅れており、できるだけ早く新たな体制をつくる必要があるため、平成29年7月からの実施を予定している。

また、支所及び行政センターの名称については全て同じく「(仮称)地域センター」としたい。技術職員については、市内4カ所に専門職員の拠点として設置する「(仮称)総合事務所」にチームで配置することで、従来の行政センターでは設計が不要な130万円以下の修繕しか対応できなかったものが、設計ができ、5千万円以下の工事にまで対応できるようになる。

「(仮称)総合事務所」が仕事の決定権や予算を持つて身近な場所に対応することで、地域の困りごとを地域の実態に即して、迅速に解決できるものと考えている。

イノシシによる被害防止補助金の手続きの迅速化

問 農家が被害防止用ワイヤーメッシュ

工柵を購入する際に利用できる補助制度は、事前着工が認められていないが、すぐに設置しなければ効果が得られないため、購入時の領収書で仮申請をすることができないか。

答 長崎市鳥獣被害防止対策事業補助金は、農業経営者や家庭菜園を営む個人などが購入する侵入防止資材費の2分の1を補助する制度である。

要綱に基づき、書類や現地調査による審査を行い、交付決定後に資材を購入・設置していただく流れとなっております。事後申請は認めていないが、早急な対応は必要と考えるため、適正な事業執行に努めながらも、市民に寄り添った事業となるよう、見直しも含め研究していきたい。

神浦4号導水トンネル補修工事の事故

問 事故の原因は何か。また、工事の特殊性についての認識と、「とび・土工・コンクリート工事」という工種で入札を行った理由について伺いたい。

答 原因については警察などが検証中だが、導水トンネル内で発電機を稼働させたことによる一酸化炭素中毒や酸素欠乏症の可能性が高いと考えている。

本工事は、導水トンネル内で原水を流しながら施工するため、特殊な薬液を使用する工事であるが、一般的な機械による作業であり、元請は特別な資

公明党

海洋再生エネルギーの取り組み

問 海洋再生エネルギー分野についての長崎市の取り組み状況を伺いたい。

答 長崎市の基幹産業である造船・造船産業を取り巻く環境は、アジア諸国の競争力の向上などにより、非常に厳しいものとなっている。

このような中、これまで培ってきた造船・造船分野の産業・技術の集積を生かすことができる海洋再生エネルギー関連産業への進出は、地場経済の活性化に大きく貢献するものと考えられる。

長崎市としては、海洋再生エネルギー分野の産業集積を図るため、企業への側面的な支援として、昨年度より国家プロジェクトへの申請に向けた事業